

グローバルファンドの概要

2024年8月

グローバルファンド 調達部長 Hui Yang



Hui Yangは2021年3月にグローバルファンドの調達部の責任者として加わり、また、グローバルファンド事務局のの経営執行委員会のメンバー。

調達や品質保証に関する業務の統括に加え、イノベーション、新製品の導入、供給基盤の多様化、サプライチェーンの環境持続可能性等のNextGen Market Shapingアプローチも推進。

Huiは、官民両セクターでの調達と供給分野において20年以上の経験を持ち、16年以上にわたりプロクター・アンド・ギャンブル（P&G）で勤務し、その後、国際移住機関（IOM）の調達・供給部門を率いた。

Huiは経済学と日本研究の学位およびハンブルク大学から経営管理学の修士号を取得。

グローバルファンドの設立

エイズ、結核、マラリアは三大感染症と呼ばれ、1990年代後半、年間何億人もの人々を感染させ、500万人以上もの人々を死に追いやっていました。

日本が議長国を務めた2000年のG8九州・沖縄サミットで感染症対策が主要議題となり、追加的資金調達の必要性についてG8首脳が確認したことが、グローバルファンド設立のきっかけとなりました。

このことから、日本はグローバルファンドの「生みの親」のひとつと称されています。

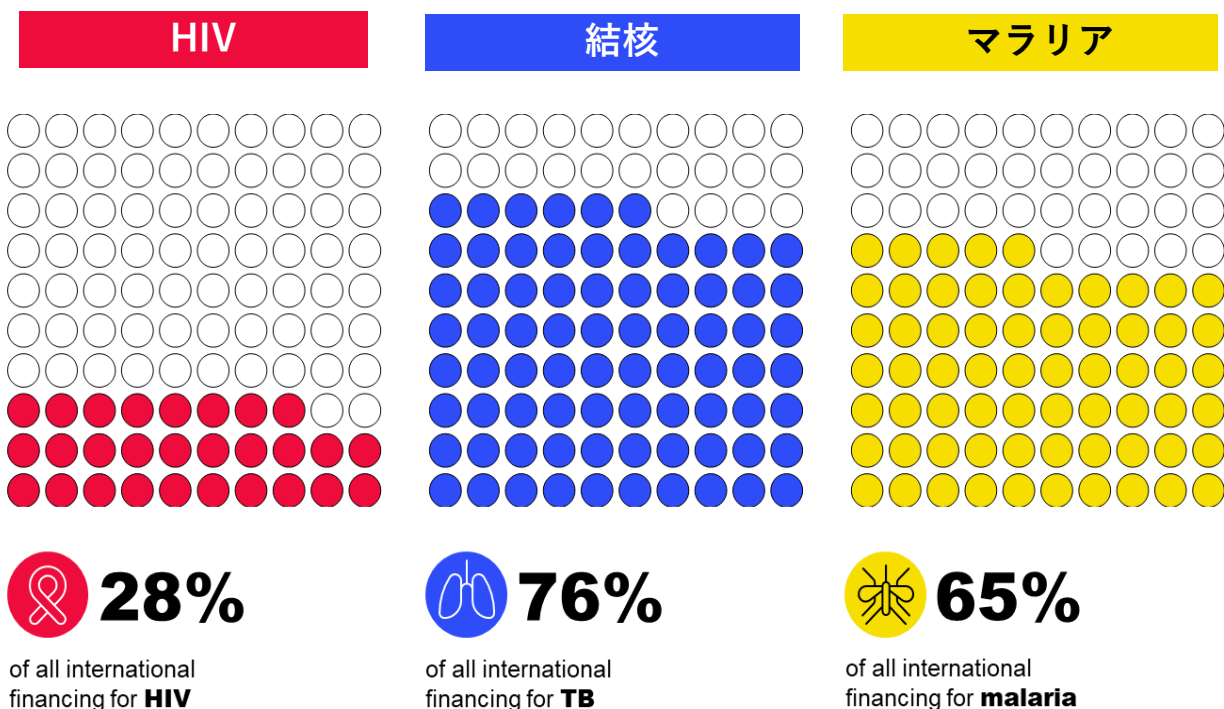
その後、2001年のG8ジェノバサミットで、エイズ、結核、マラリア対策のための基金設立が合意され、2002年に設立されました。

“初めてグローバルファンドを創ろうと提案した時、周りには「また夢みたいな話をして」と笑われました。でも何事も夢から始まるのです。”

コフィ・アナン 国連事務総長
(2001年4月)

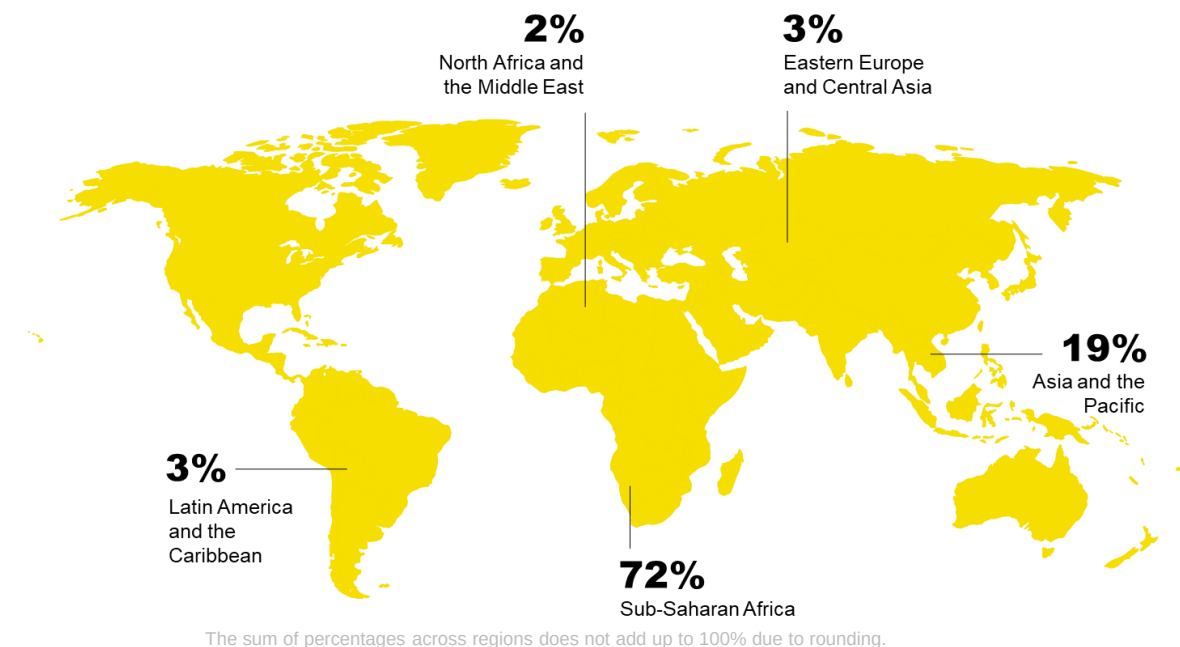
グローバルファンドの支援の割合・地域

2022年の国際的な資金支援におけるGFのシェア



GFの支援の地域別割合

2021-2023年のグラントサイクルのデータ



2023年成果報告書

主要成果

**5900
万人**

グローバルファンドの
パートナーシップに
よって救われた命



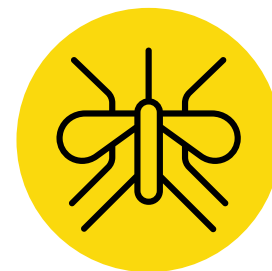
**2450
万人**

抗レトロウイルス療法を
受けているHIV陽性者



**670
万人**

結核治療を受けた人々



**2億2000
万張**

マラリア予防のため
配布された家庭用蚊帳

主な成果

2022年にグローバルファンドが支援する国で得られた成果

エイズ



2450万人 抗レトロウイルス療法を受けているHIV陽性者

5310万件 HIV検査実施数(1220万件は優先度の高い人々/キーポピュレーション向け)

1530万人 エイズ予防サービスを受けた人々

71万人 自らの命と母子感染予防のために医療を受けたHIV陽性の母親

83万1000件 エイズ予防目的で行われた自発的な男性割礼手術

結核



670万人 結核治療を受けた人々

11万8000人 薬剤耐性結核の治療を受けた人々

33万1000人 抗レトロウイルス薬を服用しているHIV陽性結核患者

220万人 結核の予防的治療を開始した抗レトロウイルス薬を服用しているHIV陽性者

150万人 結核に暴露し予防的治療を受けた人々

マラリア



2億2000万張 マラリア予防のため配布された家庭用蚊帳

3億2100万件 マラリアが疑われる症例の検査

3710万人 季節性マラリアの化学的予防(服薬)を受けた子ども

1460万人 マラリアの予防的治療を受けた妊婦

1億6500万人 マラリア治療を受けた人々

強靱で持続可能な保健システムの構築

- 公衆衛生の脅威としてのエイズ、結核、マラリアの流行を終息させ、新型コロナのような新たな脅威への備えと対策を支援するためには、強固な政府及びコミュニティの保健システムがきわめて重要で、強靱で持続可能な健康システム（Resilient and Sustainable Systems for Health: RSSH）を構築することが不可欠。
- グローバルファンドによるRSSH支援は、国際機関の無償資金供与の中では最大規模で、2023年から2025年の間、政府及びコミュニティのシステムに年間20億米ドルを支援。公的な医療システムに加え、地域社会等のコミュニティへの支援も通じて、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）にも貢献。
- 低中所得国は、長年のHIV、結核、マラリアとの闘いで得た経験やラボ等の設備、コミュニティのネットワークが、新型コロナ感染症の対応に活かされた。



Market Shaping及び 域内の生産能力向上の推進

低・中所得国向けの医薬品・医療機器等の調達において、グローバルファンドの存在は世界最大級であり、年間平均で約20億米ドル以上を調達している。

2022年、グローバルファンドは、品質が確保された医療製品へのより公平なアクセスを推進するNextGen Market Shapingフレームワークを策定。地理的な供給リスクやコスト等も考慮した、多様で競争力のある供給基盤の構築を推進し、医療製品の十分かつ公平な供給を目指している。

医療製品の現地生産も推進しており、2023年の8月には、アメリカ大統領エイズ救済緊急計画（PEPFAR）およびUnitaidと連携し、世界保健機関（WHO）の支援を受け、アフリカにおけるHIV迅速診断検査（RDT）の供給を加速するため、アフリカの製造業者に対する関心表明（EOI）を求めるパイロットプロジェクトを開始。

2022年にGFを通じてアフリカの製造拠点から調達された製品とシェア：アルテメテル・ルメファントリン（抗マラリア薬）が17%、長期残効殺虫処理蚊帳（LLIN）が19%、コトリモキサゾール（抗菌薬）が98%を占める。

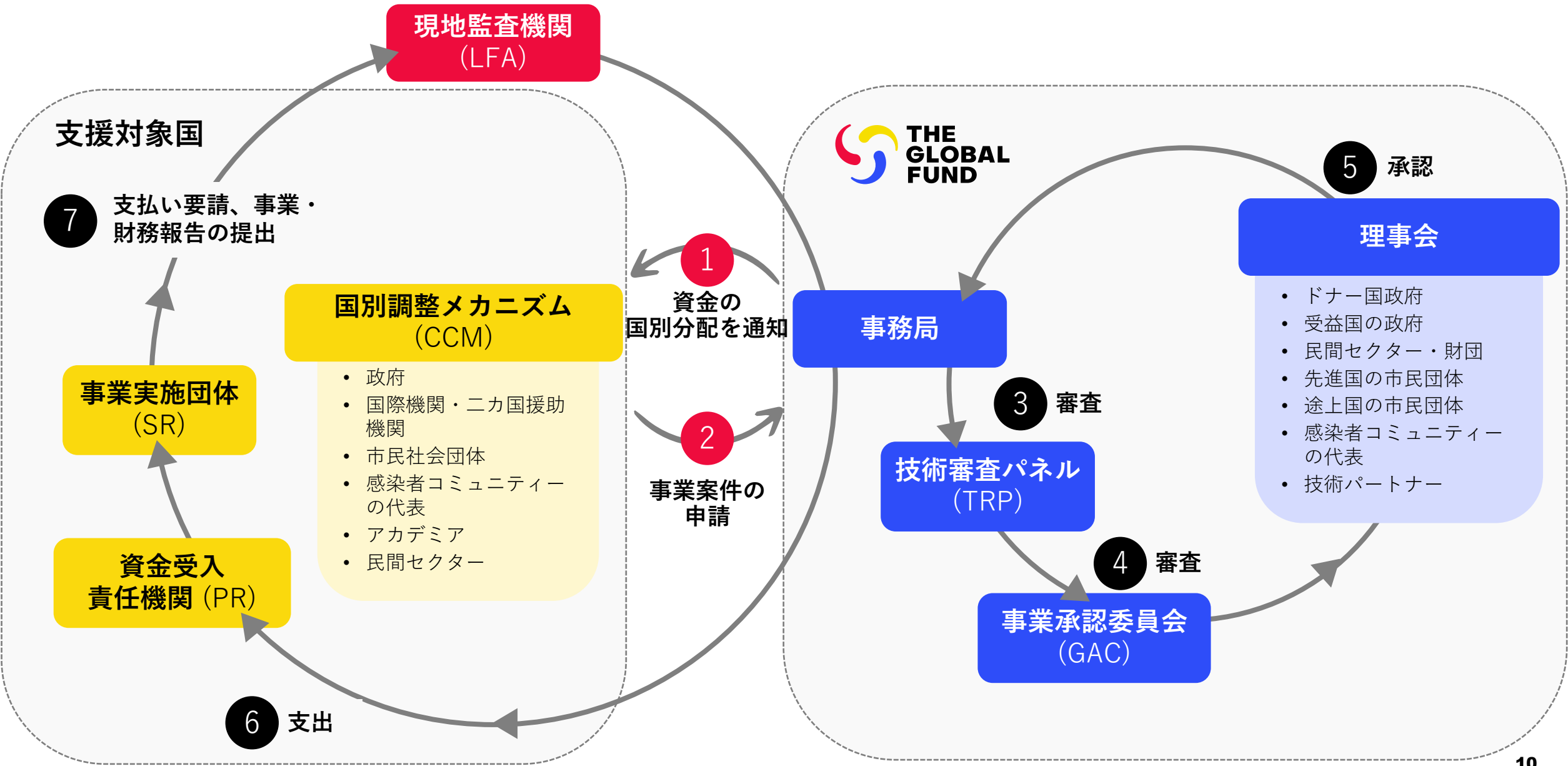
デジタルヘルス及び データシステム

グローバルファンドは、各国がより強力なデータシステムを構築するのを支援している。2021年から2023年の間に年間1.5億米ドル以上をデジタルヘルスと情報システムの強化に投資して、データの可用性、質、俊敏性を向上させ、保健データと情報の解釈とそれへの対応を改善している。

グローバルファンドは、各国が保健データをデジタル化し、地域のコミュニティ・ヘルス・ワーカーにデジタルツールを提供して、患者に医療サービスを届けることを支援している。同時に、ヘルステックの起業家の製品やサービスを保健の課題に適応させる支援もしている。

グローバルファンドは、95か国で累計7億米ドル以上を保健管理情報システムに投資している。

案件形成から資金供与の流れ



日本とグローバルファンド

第5位のドナー

- 累積拠出額は48.6億米ドル
- グローバルファンド理事会で単独議席を有する



TICAD 8 (2022年8月)



グローバルファンドの第7次
増資会合 (2022年9月)

グローバルレベルでのパートナー

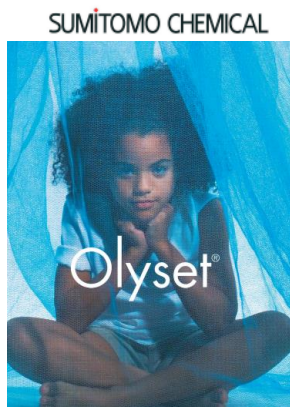
国連総会サイドイベント
“The Path Towards UHC”
(2019年9月)



TICAD6サイドイベント
“UHC in Africa” (2016年8月)



日本企業の製品の調達



住友化学の蚊帳



大塚製薬の結核治療薬



富士フィルムの携帯型X線撮影装置

民間企業による資金拠出



15年の長期にわたる
武田薬品の寄付



(PRODUCT)REDの
パートナー企業

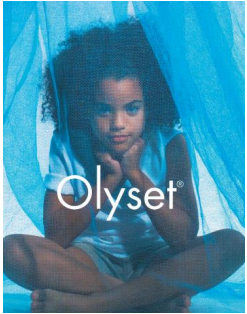
日本企業からの調達

- ・ グローバルファンドは、日本企業や日本に進出する企業等から様々な分野の製品を調達している。
- ・ 日本は、グローバルファンドによって調達された医療製品の出所国の中で、5番目に大きな供給源。

殺虫処理蚊帳

- マラリア予防におけるゲームチェンジャー且つ現地生産のパイオニア。

SUMITOMO CHEMICAL



診断

- HIV迅速診断検査で高いシェア。



- 迅速検査、顕微鏡



医薬品

- 40年ぶりの抗結核薬の新薬。



- ドルテグラビルをジェネリック医薬品会社にライセンス供与。



医療機器

- 携帯型X線とAIを組み合わせた結核診断

FUJIFILM



車両等



民間セクターとの連携

グローバルファンドは、命を救い、保健の不平等を克服し、将来のパンデミックへの対応力を強化するために、革新的で影響力のある民間セクターおよび慈善団体との連携している。グローバルファンドのパートナーシップは、デジタルヘルス、電気通信、金融、製薬および生命科学、さらには消費財メーカーにまでおよぶ。

私たちは、エイズ、結核、マラリアとの闘いにおいて、資金提供から、専門知識や技術、イノベーションに至るまで、多岐にわたる民間セクターがもたらす様々なリソースを活用している。

2023年10月時点で、民間ドナーからの累積拠出額は39億米ドルに達している。この中には、最大の民間ドナーであるビル&メリンダ・ゲイツ財団や、最も成功した民間セクターパートナーシップの一つである(RED)によって拠出された5億米ドル以上が含まれている。



39億米ドル

民間や非政府団体
からの累積拠出

(RED)の共同設立者の一人でもあるU2のボノ

革新的なパートナーシップ

グローバルファンドは、民間セクターの専門知識を活用し、感染症の影響を受けるコミュニティと協力しつつ、革新的な取り組みを必要な地域に迅速に拡大・展開している。

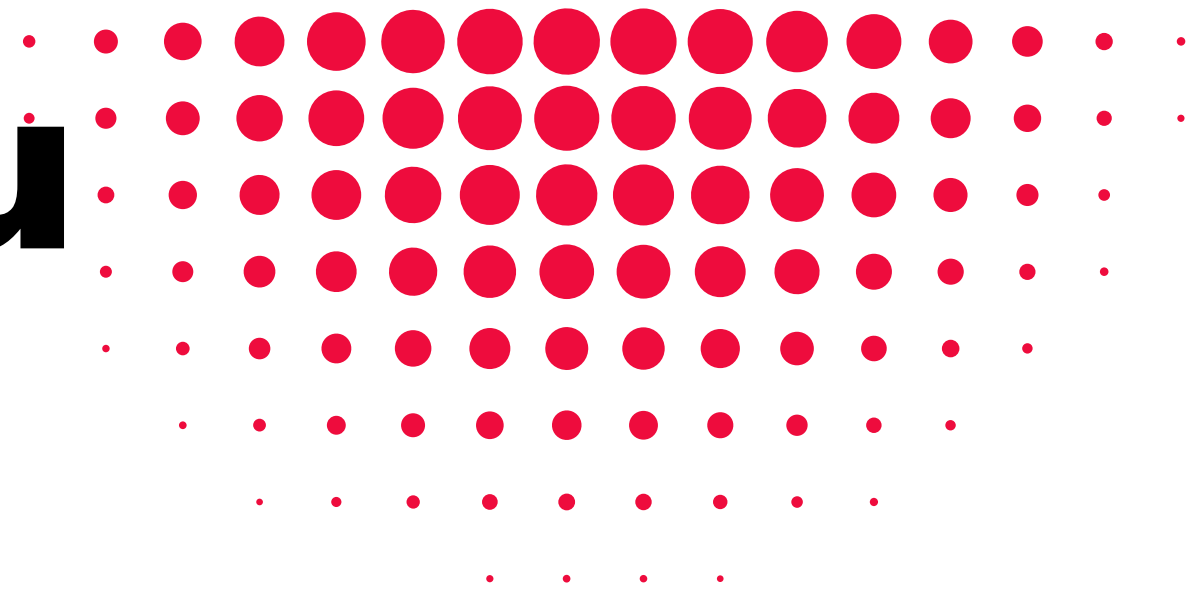
新しい技術、医療の革新、高度な財務管理への投資を通じて、グローバルファンドの民間セクターとのパートナーシップは、大胆なプロジェクトに取り組み、創造を加速させ、ユニークな課題に取り組むことを可能にする。

民間セクターパートナーは、変化を促し、大規模な革新を支援し、資金が不足している重要な分野にへの投資を可能にする。

コカ・コーラとの Project Last Mileパートナーシップは、サプライチェーン、物流、マーケティングのベスト・プラクティスを活用して、アフリカで3,500万人に命を救う抗HIV薬を届けた。

Children's Investment Fund Foundationによる触媒的投資は、5つのアフリカ諸国におけるHIV自己検査の資金を3倍以上に増加させ、1年で検査キットの調達を7,000個から300万個以上に増加させた。

Thank you



The Global Fund to Fight
AIDS, Tuberculosis and Malaria

+41 58 791 1700
theglobalfund.org

